

作業療法「2008年 春」

作業療法のページ

創作活動

週に2 - 3回の創作の時間を利用して主に季節に関係した作品を制作しています。一回の作業時間は30分程度で、作品の完成には約一ヶ月から二ヶ月程度かかります。

主な材料は画用紙や、お花紙を利用しそれぞれ出来ることを分担して行って頂いています。

テーブルを囲み作業することで会話が弾んだり、笑いが生まれたり、顔馴染みの関係が出来たりなど社交的な場にもなっています。



『団子より花』

製作期間: 約 1 ヶ月

参加人数: 約 20 名

夜桜を紙いっぱい咲かせました。大きな紙を広げ、ピンク色の画用紙を小さくちぎったものを周りから皆さんにまいてもらいました。紙の花びらが散ってしまうので、糊付けを数回して満開に仕上げてもらい完成となりました。

「花より団子だね」という話題になりましたが、「やっぱり団子より花だよね」とこの言葉を添えさせてもらいました。

春の訪れを告げるウグイスが梅の花の間から雪解け前の富士山を眺めている様子を表現しました。春に似合うさわやかな作品になりました。



『富士を眺めるウグイス』

製作期間:1ヶ月

参加人数:約10人

端切れを使い、一人二つずつお手玉を作成しました。夏にトウモロコシだと勘違いしていた草に実がついたので、メンバーで畑に取りに行きました。

(詳しくは2007年秋号の園芸活動をご覧ください！)



『お手玉』

製作期間:3ヶ月

参加人数:3名



七福神の神様が桜のお花見をされている作品です

色画用紙やお花紙を使い、桜の木や花弁を立体的に表現しています。

何ともほのぼのしい神様の表情が患者様にも好評です。

『お花見』

製作期間:約1ヵ月

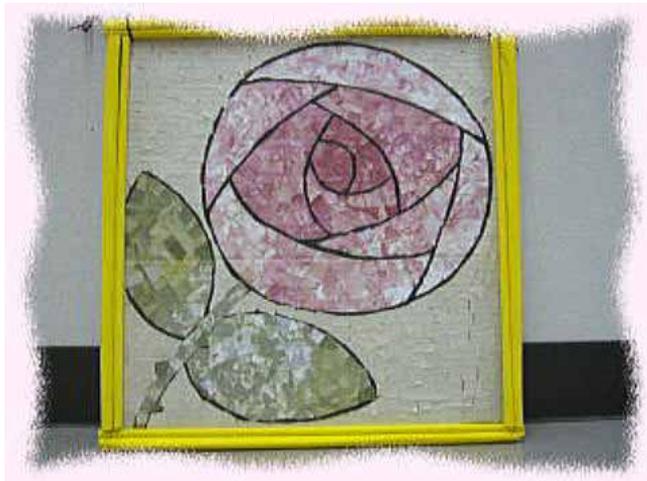
参加人数:12名

グループ活動



『撫子の会』という女性メンバー限定の集まりがあります。その活動の中で、1階のエントランスまで桜を見に行った時の一枚です。

珍しい室内でのお花見で、みなさんとても嬉しそうに桜を見上げていました。



製作期間：約2ヶ月
参加人数：4名

端切れを使い、貼り絵を行いました。メンバーのアドバイスで、花びらの色合いを変えています。「布の味が出ているね！」と皆で完成を喜びました。



次回作品の夏の花をメンバーで話し合っているところです。

『バラの布絵』



4月の暖かい日に、近隣の桜木の下へお花見散歩をしました。参加された方は、「まだ少し肌寒いけれど、綺麗だね。」と、口を揃えて感想を語られていました。

『或る春の日』